箱根ジオパーク
Hakone Geopark

ジオサイトマップ

北と南をつなぐ自然のみち　東と西をつなぐ歴史のみち

CG制作　神奈川県立 生命の星・地球博物館

私たちは箱根ジオパークを応援しています！

Hakone Geopark　箱の森　箱根ジオパーク Hakone Geopark　GEOPARKS JAPAN 日本ジオパーク

箱根ジオパーク推進協議会
事務局（箱根町企画課 ジオパーク推進室内）
TEL. 0460-85-9560 http://www.hakone-geopark.jp/

2020

北と南をつなぐ自然のみち

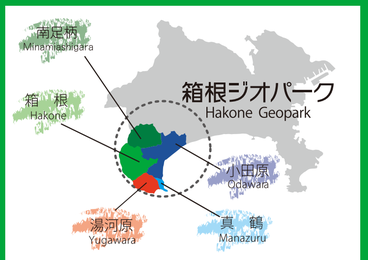
この地域の特徴は、フィリピン海プレートの伊豆・小笠原弧が北米プレートの本州弧に衝突したプレートの境界域に位置することと、その中心である箱根火山が、南北にのびる天然の障壁をなしていることです。箱根火山は、その北に連なる足柄山地・丹沢山地をはじめとするフォッサマグナ地域と、その南に連なる伊豆半島から伊豆・小笠原諸島の自然をつなぐみちに位置します。

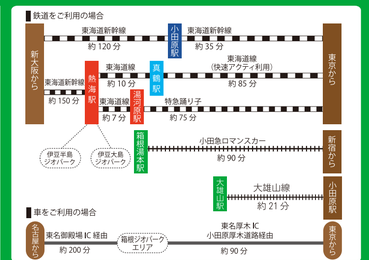
東と西をつなぐ歴史のみち

日本の歴史を形作ってきた東海道や足柄道は、東西を結ぶ大動脈です。戦国時代の小田原城や石垣山一夜城、中世から始まり江戸時代に隆盛を迎えた石材採掘、江戸時代の箱根関所跡などは、かつてあった東西の厚擦や緊張を今に伝えています。まさに本地域は、古代からの日本の東と西の文化をつなぐ歴史のみちに位置するのです。

箱根ジオパーク
Hakone Geopark

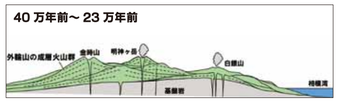
箱根ジオパークは、地域の自然と
歴史・文化の多様な資源を地質的な観点という
新しい視点を加えて見直し、
地域住民が自らの地域を再認識し関心を
深めるとともに、観光客にさらなる感動を
与えることを目指しています。



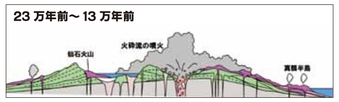


箱根火山の成り立ち

箱根山は日本を代表する火山の一つです。以前は一つの大きな火山が陥没して形成しているとされていました。しかし、最近の研究結果では、複数の火山が集まって形成されたという説が有力となりました。

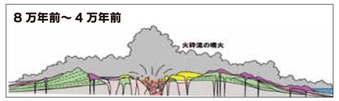


何度も繰り返す噴火により中型～小型の富士山のような火山が連なった火山群を形成しました。金時山、明神ヶ岳、明星ヶ岳などをつくる溶岩はこの時代に形成されました。



火山群の中心部で大規模な噴火が何度も起こり火砕流が発生しました。火山群の中心部は破壊され、噴火後にカルデラとなり、その周囲は外輪山となりました。また、この時期には外輪山の山腹での噴火が活発となり、真鶴半島もつくられました。

この時期以降、噴火はカルデラの内側に限定されるようになり、鷹巣山、浅間山、屏風山など山頂が比較的平らで台地状の山の形が特徴の古い（前期）中央火口丘がつくられました。



爆発的な噴火が何度も起こり、新しいカルデラがつくられました。約６万６千年前に発生した火砕流の噴出物は東京軽石と呼ばれ、広範囲に飛び散り南関東一円に堆積しています。

カルデラの内側に粘り気のある溶岩が噴出して固まり、いくつものドーム型の山をつくりました。この時にできたのが神山、駒ヶ岳、二子山などの新しい（後期）中央火口丘です。そして約３千年前に神山の一部斜面が崩れ、その土砂が早川を堰き止めて芦ノ湖がつくられました。

日本地質学会地学教育委員会編（2007）
『国立公園地質リーフレットたんけんシリーズ１
箱根火山たんけんマップ－今生きている火山－』◎一般社団法人日本地質学会

拠点施設

- Pf1 箱根ジオミュージアム
- Pf2 小田原市郷土文化館
- Pf3 箱根町立郷土資料館
- Pf4 箱根関所・箱根関所資料館
- Pf5 箱根町立森のふれあい館
- Pf6 箱根ビジターセンター
- Pf7 箱根町立箱根湿生花園
- Pf8 真鶴町立遠藤貝類博物館
- Pf9 湯河原町立図書館
- Pf10 南足柄市郷土資料館
- Pf11 神奈川県立生命の星・地球博物館
- Pf12 神奈川県温泉地学研究所

箱根中央火口丘 エリア

- H1 大涌谷
- H2 早雲山と大涌沢
- H3 神山と流れ山
- H4 駒ヶ岳
- H6 関所と石畳
- H7 芦ノ湖
- H13 元箱根石仏群
- H14 箱根神社

箱根早川沿い エリア

- H5 仙石原湿原
- H8 長尾峠
- H9 金時山
- H16 堂ヶ島
- H17 蛇骨渓谷
- H18 白石地蔵と福住旅館外壁
- H21 千条の滝

箱根須雲川沿い エリア

- H10 大観山
- H11 須雲川
- H12 玉簾の滝
- H15 飛龍の滝と柱状節理

小田原 エリア

- O1 早川石丁場群
- O2 小田原城と小田原用水
- O3 石垣山一夜城
- O4 根府川（片浦海岸）
- O5 荻窪用水
- O6 羽根尾貝塚
- O7 六本松跡

真鶴 エリア

- Ma1 魚付き林と漁礁
- Ma2 三ツ石海岸
- Ma3 岩地区
- Ma4 貴船神社
- Ma5 しとどの窟（真鶴）
- Ma6 真鶴半島採石場跡

湯河原 エリア

- Y1 幕山
- Y2 南郷山
- Y3 しとどの窟（湯河原）
- Y4 城願寺
- Y5 不動滝
- Y6 湯河原温泉
- Y7 福浦カツラコ海岸

南足柄 エリア

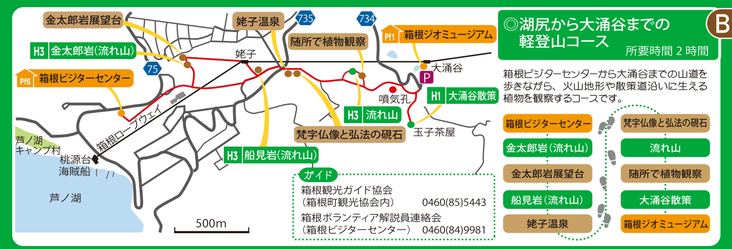
- Mi1 足柄峠と足柄道
- Mi2 矢倉岳
- Mi3 夕日の滝
- Mi4 蛤沢周辺
- Mi5 文命堤
- Mi6 最乗寺と杉林
- Mi7 清左衛門地獄池
- Mi8 御嶽神社と矢佐芝石丁場

◎箱根湯本散策コース　A
所要時間 2 ～ 3 時間（短縮可）

湯本周辺の大地の生い立ちの謎を探しながら、この地の歴史と温泉について知ることができるコースです。

箱根町立郷土資料館 → 早雲寺 → 正眼寺 → 信濃郎の火砕流堆積物 → 石畳 → 玉簾の滝 → 横穴式源泉跡 → 白石地蔵 → 早川泥流堆積物 → 福住旅館外壁 → 熊野神社 → 箱根湯本

ガイド　箱根観光ガイド協会（箱根町観光協会内）　0460(85)5443



◎湖尻から大涌谷までの軽登山コース　B
所要時間 2 時間

箱根ビジターセンターから大涌谷までの山道を歩きながら、火山地形や散策道沿いに生える植物を観察するコースです。

箱根ビジターセンター → 金太郎岩（流れ山） → 金太郎岩展望台 → 船見岩（流れ山） → 姥子温泉 → 梵字仏像と弘法の硯石 → 流れ山 → 随所で植物観察 → 大涌谷散策 → 箱根ジオミュージアム

ガイド　箱根観光ガイド協会（箱根町観光協会内）　0460(85)5443
箱根ボランティア解説員連絡会（箱根ビジターセンター）　0460(84)9981

◎豊臣氏VS北条氏の小田原合戦を知るコース　C
所要時間 4 ～ 5 時間（短縮可）

観光地として有名な小田原城と一夜城ですが、箱根火山がつくりだした地形を活用しています。

神奈川県立生命の星・地球博物館 → 神奈川県温泉地学研究所 → 溶岩を使った石垣 → 早川石丁場群 → 石垣山一夜城 → 石垣山 → 小田原用水 → 小田原城 → 小田原市郷土文化館 → 早川口遺構 → 海蔵寺

ガイド　NPO 法人 小田原ガイド協会　0465(22)8800

◎真鶴の地質、生物、歴史を満喫するコース　D
所要時間 3 ～ 4 時間

真鶴半島は約 15 万年前に、この地に噴出した溶岩でできました。ここでは地質はもちろん、様々な植物や海岸動物を観察することができます。

お林（お林展望公園） → 三ツ石海岸 → 貴船神社 → しとどの窟（真鶴） → 真鶴半島採石場跡（番場浦海岸） → 真鶴岬

ガイド　真鶴観光ボランティアガイド（真鶴町観光協会内）　0465(68)2543

◎鎌倉幕府開運コース　E
所要時間 4 ～ 5 時間

しとどの窟から城山、城願寺に至るコースには、源頼朝にちなんだ名所が多数あります。いずれも火山と関連したものです。

湯河原駅バスターミナルで「しとどの窟」へ

椿台・相模湾と伊豆半島の展望 → しとどの窟(湯河原) → 幕山を眺める → 城山（土肥城址） → 城願寺 → 銭明ゆかりの名石 立石とかぶと石 → 相模湾と伊豆半島の展望

ガイド　湯河原まちづくりボランティア協会（湯河原町役場内）　0465(63)2111

◎足柄峠から観る富士山と箱根の山々～金太郎伝説をたどるコース　F
所要時間 4 ～ 5 時間

その昔東西を結んだ官道・足柄古道を歩き、断腸のつずれさら生まれたタ日の滝を観察します。足柄万葉公園までの路線バスは、４月、５月、10 月、11 月に限定されます。

大雄山駅からバスで六望公園へ

足柄万葉公園 → 足柄峠と足柄道 → 矢倉岳 → 夕日の滝 → 蛤沢周辺 → 文命堤 → 最乗寺と杉林 → 清左衛門地獄池 → 御嶽神社と矢佐芝石丁場 → 金太郎遊び石 → 金太郎道 → 地蔵堂バス停

ガイド　南足柄ジオガイドの会（南足柄市役所内）　0465（73）8001

P 駐車場は有料、無料とあります